

第13回パークスペース運営会議（議事概要）

1. 日時及び場所

平成24年12月5日（水）18:30～20:00

「ことば蔵」1階パークスペース

2. 参加者 20名

3. 会議内容 【歳末総点検！パークスペース運営会議】

①ことば蔵パークスペースが目指すものの確認。

「ことば蔵」の基本機能と、これまでの運営会議やイベント「新図書館講座」の中から出てきた「パークスペースで大切にしたいもの」の確認。

設計コンセプト

ことばを介した読書と歴史、誰もが気軽に訪れることができる人のふれあいを促進する『公園のような図書館』

基本機能

- ・20万人都市にふさわしい今日的な図書館機能。
- ・人と人とがふれあい、語り合い、学べる交流機能。
- ・伊丹郷町の歴史・文化を発信・体感できる機能。

パークスペースで大切にしたいこと

- ・公園のようにオープンな図書館を目指そう。
- ・誰もが参加できる学びの場にしよう。
- ・図書館だからこそできることを考えてみよう。
- ・利用のルールはゆるやかに動きながら考えよう。
- ・色んな提案や企画は運営会議で話し合おう。

先輩たちからの金言（新図書館講座の講演から）

- ・「無料貸し本屋」になってはいけない（小布施町立図書館まちとしょテラソ 花井館長）
- ・知的な何かを借りることができる「蔵」に（奈良県立図書情報館 乾さん）
- ・収益をうむより財を生むのがこれからの図書館の役割（奈良県立図書情報館 乾さん）

②現状の数字を確認(来館者数、新規登録者数)

来館者数	旧図書館来館者数
7月 44513人	7月 33092人
8月 39005人	8月 37276人
9月 29350人	9月 26690人
10月 33594人	10月 29061人
11月 30137人	11月 28838人

新規登録者数

7月 2957人

8月 1353人

9月 669人

10月 498人

11月 447人

旧図書館新規登録者数

7月 457人

8月 575人

9月 220人

10月 276人

11月 235人

→今後もリピーターを増やしていくことに尽力していくことが大事。

そのためにはどうすればよいか考えていく必要がある。

③当初の課題やアイデアを確認し問題提起

【こんなことがしたかった】

- ・飲食がしたかった。
- ・参加料を取ってイベントがしたかった。
- ・音楽がしたかった。
- ・もっと新しいお客さんに来てほしかった。 等

(開館から5ヶ月たった現状について参加者からの意見)

- ・パークスペースの普段の活用ができていない。(普段人がいない。)
- ・禁止事項が多い。(お菓子禁止、ゲーム禁止など)
- ・「公園のような図書館」をコンセプトにしているのに、音やしゃべり声を気にしすぎでは。
- ・南フロアでも食事をしてよいのでは。
- ・南フロアにカーペットやソファ、机、イスなどを設置し、くつろげる空間にしてほしい。
- ・静かに読書ができる場所を確保すれば1階は多少賑やかでもよいのでは。
- 「交流」スペースなのに「交流」しにくくなっている。

図書館全体として「交流」をきちんと打ち出していくことが必要なのは。

④年末ふりかえりワークショップ

付せん紙を配り、「ことは蔵でできたこと」と「まだ着手できていないこと、やりたいこと」「気づいたこと」を洗い出し

→イベントの面では、比較的「できたこと」が多いのに対し、日常(普段)の使い方には「これからやりたいこと」が多く、交流スペースの現状や課題が顕著にわかった。

今回のワークショップから今後の目標としては以下のようなことが挙げられる。

イベント

- ・朝と夜の時間の活用を意識する。(ex.朝市、夜のビジネスマン向けイベント)
- ・引き続き「音」に関する取り組みは考えていく。
- ・飲食系イベント

部活

- ・FaceBook などの活用
- ・広報専門の部活などの立ち上げ

日常

心地よい時間を長く過ごせるようにしたい

今回の会議で決まった 1 階パークスペースの方向性。

- ・ ルールをもっとゆるやかに → 禁止事項をなくす
- ・ 常識を超える範囲は職員が口頭で注意
- ・ 人がたまるような空間的な改善も → イス、机などの設置
- ・ 図書館全体として「交流」をきちんと打ち出していく

4. 次回の会議について 場所は「ことば蔵」1 階交流スペース

【イベントレポート】

1 月 8 日(火) 14:00～

【運営会議】

1 月 9 日(水) 18:30～ ※1 月の運営会議は第 2 水曜日になります。

(イベントレポートは第 2 火曜日)

